

11月 7-13日

列王第二 5-6章

55番の歌と祈り

開会の言葉（1分）

神の言葉の宝

「彼らと共にいる者よりも、私たちと共にいる者の方が多い」（10分）

宝石を探し出す（10分）

王二 5:15, 16 ナアマンは部下たちと共に戻って、真の神に遣わされた人の前に立ち、こう言った。 「イスラエル以外にはどこにも神はないことが分かりました。私からの贈り物をどうぞ受け取ってください」。 16 エリシャは言った。 「私が仕える生きている神エホバに懸けて誓います。私は受け取りません」。 ナアマンは、受け取るようしきりに勧めたが、エリシャは拒み続けた。 エリシャがナアマンからの贈り物を受け取らなかったのはなぜか。このことから何を学べるか。

(塔 05 8/19 ページ 2 節 列王記第二の目立った点) 5:15, 16 — エリシャがナアマンからの贈り物を受け取らなかったのはなぜでしたか。 ナアマンをいやす奇跡を行なえたのは自分の力ではなくエホバの力による、ということを認めていたからです。神から与えられた職責を利用して利益を得ることなど、エリシャには考えられなかつたでしよう。今日、真の崇拜者も、エホバへの奉仕から個人的な利益を得ようとはしません。「あなた方はただで受けたのです、ただで与えなさい」というイエスの訓戒を心に留めています。 — マタイ 10:8

今週の範囲からエホバについて何を学べたか。宣教でどんな点を活用できるか。ほかにどんな宝石を見つけたか。

(5:11-12) ナアマンはエリシャの一見そつけない対応に怒り、重い皮膚病から解放される機会を失うところだったが、(5:13)の家来たちの助言に救われた。この家来たちの言葉からナアマンが普段から家来たちと良い意志の疎通を図っていたことをうかがい知れる。私たちも会衆内の親切で謙遜な仲間との交友を大切にして、励まし合い、助言し合える友を見い出して、引き続きエホバからの祝福に与かっていきたいと思う。

聖書朗読（4分） 王二 5:1-14（教励 第2課）

野外奉仕に励む

最初の話し合いの動画（5分）討議。「最初の話し合い: 良い知らせ（詩 37:10, 11）」の動画を再生する。映像が止まったところで動画を一時停止し、画面に表示される質問をする。

(大切な家族や子供たちのことを考えると世の中が平和なところになって欲しい。皆の願い通りいつかそうなると思うか？(そういう

って欲しいんですけど、難しいのではないか。)世界で起きていることからすると、よっぽど変わらないと無理って思いますよね。
ちょっとここを見てもらえるか。もうすぐ世界からこんな人が居なくなるって書いてある。(詩 37:10,11)
どんな人が居なくなるって、ありましたか?(悪人ですか。)そう、悪い人が居なくなったら、暴力事件とかも無くなるでしょうね。そ
うなつたら世の中は今より良くなるって思わないか?(きっとそうなるでしょうね。皆安心して暮らせるんじゃないですか。)ここにも
温厚な人は地上に住み続け、豊かな平和をこの上なく喜ぶってありました。聖書はこういう平和な将来を描いている。これから先
世界がどんな風になるのか、聖書には明るい希望が書かれているので、また聞いてくださいね。)

①伝道者はどのように筋道立てて話していましたか。

- ・家族や子供たちのことを考えると世界が平和なところになって欲しい
- ・しかし世界の状況からすると難しそう
- ・悪人がいなくなったらどうか。暴力事件もなくなり、安心してくらせるようになる。
- ・(37:11)温厚な人は地上に住み続け、豊かな平和をこの上なく喜ぶ。
- ・聖書はこういう平和な将来を描いている

②宣教ツールボックスの出版物をどのように活用できますか。

いつまでも幸せに暮らせます冊レッスン2の4の副見出しの挿絵に注目してもらい、「ここに描かれている中で、どんな変化が嬉しいか?」と質問

最初の話し合い(3分) 話し合いのサンプルの話題に沿って話す。区域でよくある反対意見に対応する。(教勵 第12課)

聖書研究(5分) 暮 レッスン08 序文と副見出し 1-3 (教勵 第15課)

クリスチヤンとして生活する

37番の歌

「いつも与えなさい」(15分) 討議。長老が扱う。「皆さんに感謝しています」の動画を再生する。会衆の兄弟姉妹が気前よく与えていることについて具体的に褒める。

会衆の聖書研究(30分) 暮 レッスン26

閉会の言葉(3分)

30番の歌と祈り

^ (王二 5:1-6:33) シリアの王の軍隊長ナアマンは優れた人で、主人から重んじられていた。エホバがナアマンを通してシリアに勝利*を与えたからだった。ナアマンは強い戦士だったが、重い皮膚病を患っていた。² ナアマンの妻の召し使いに1人の少女がいた。かつてシリア人がイスラエルを襲撃した時に捕虜として連れてきた少女だった。³ 少女は女主人に言った。「ご主人さまがサマリアの預言者の所に行かれたら、その方が重い皮膚病を治してくださるはずです」。⁴ そこである人*が主人のもとに行き、イスラエルから来た少女が言ったことを話した。⁵ シリアの王は言った。「すぐ行きなさい! イスラエルの王に手紙を送ろう」。それでナアマンは、銀340キロ



エリシャが従者に「彼らと共にいる者よりも、私たちと共にいる者の方が多いのです」と言っている。 ([王二 6:16](#))

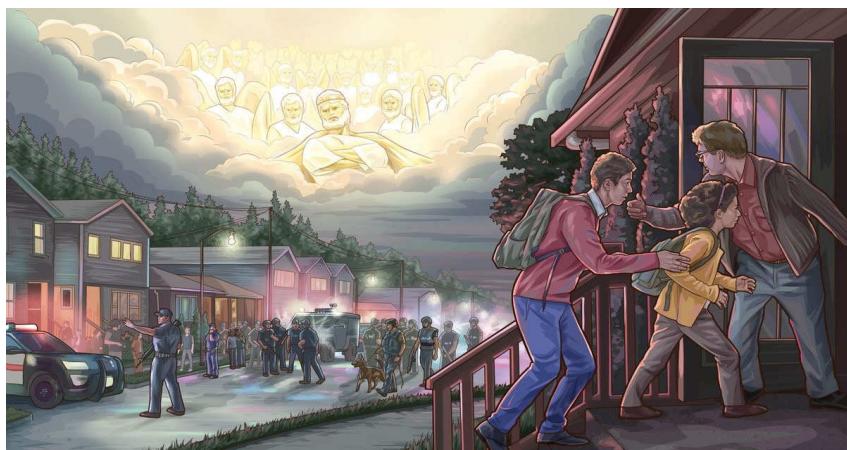
神の言葉の宝

彼らと共にいる者よりも、私たちと共にいる者の方が多い

エリシャと従者は敵に囲まれていた。 ([王二 6:13, 14。洞-1 425 ページ 4 節](#))

エリシャは落ち着きを保ち、従者の信仰を強めた。 ([王二 6:15-17。塔 13 8/15 30 ページ 2 節](#)。表紙の絵を参照。)

エホバは奇跡によってエリシャと従者を救った。 ([王二 6:18, 19。洞-2 988 ページ 1 節](#))



私たちの敵よりもエホバの方が強い。目には見えなくても、エホバは天使を用いてご自分に仕える人たちを守っている。その状況をイメージできるだろうか。

[^ \(王二 6:16\)](#) エリシャは言った。「恐れてはいけません！彼らと共にいる者よりも、私たちと共にいる者の方が多いのです」。



クリスチャンとして生活する

「いつも与えなさい」

気前よく与えるなら他の人もそうするよう動かされる、とイエスは教えました。 ([ルカ 6:38](#) いつも与えなさい。そうすれば、人々は与えてくれます。あなたたちの衣服に惜しみなく注ぎ込み、押し入れ、揺すって入れ、あふれるほどにしてくれます。人に量って与えるのと同じはかりで、人からも量って与えてもらえます)

いつも与えるなら、兄弟姉妹も親切に気前よく与えたいと思うでしょう。

喜んで与えることは崇拝の一部です。助けを必要としている人に進んで親切にするなら、エホバは気付いてくださり、その行いに報いてくださいます。 ([格 19:17](#) 立場が低い人に親切にする人はエホバに貸しており、神はその行いに報いて(*返して)くださる)

「皆さんの寄付に感謝しています」の動画を見て、次の質間に答えましょう。

① あなたの寄付は、兄弟姉妹を支えるためにどのように用いられていますか。

ビデオの制作、支部施設の建設、出版物の翻訳、災害救援などに惜しみなく用いられ、その恩恵に与かっている仲間自身も寄付をするよう励まされている。

② 多いか少ないかにかかわらず、与え続ける必要があるのはなぜですか。

全ては伝道活動や兄弟姉妹の一致に貢献している。与えることによってエホバを崇拝し、賛美することができる。寄付する私たちをこれからもエホバは喜んで祝福してください。

jw.org の「[資金の限られた地域の兄弟姉妹を支える](#)」という記事もご覧ください。

オンライン寄付についてもっと詳しく

エホバの証人の活動を支えるために寄付をしたいと思う場合、どうすればよいですか。 JW Library® アプリのホーム画面の下部にある「[寄付をする](#)」を選択してください。多くの国では、「よくある質問」から「エホバの証人への寄付 よくある質問」をダウンロードできます。

寄ど 記事5 資金の限られた地域の兄弟姉妹を支える

寄付はどのように使われているか

資金の限られた地域の兄弟姉妹を支える

2020年10月1日

エホバの証人は200以上の国や地域で人々を助ける大切な活動を行っています。でも地元の寄付で活動の費用を賄えているのは、35の国や地域しかありません。その他の国ではどのように出費が賄われているのでしょうか。

統治体は世界中のエホバの証人の活動を見守り、兄弟姉妹が何を必要としているか見定めます。予算を慎重に組み、寄付を適切に使っています。ある支部に必要な出費を上回る資金がある場合、その余剰分を資金が不足している支部が使えるようにします。この取り決めは1世紀のクリスチャンが示した手本に倣っています。彼らは「均等を図る」ことで助け合いました。（コリント第二8:14 均等を図ることが目的です。皆さんのが現在多めに持っている分が彼らの足りない分を埋め合わせ、彼らが多めに持っている分が皆さんの足りない分を埋め合わせると、均等になります）多めに持っている分で仲間の足りない分を埋め合わせたのです。

他の支部から資金を受け取っている国の兄弟たちはどのように感じていますか。タンザニアでは人口の半数以上の人たちが1日200円以下で暮らしています。そういう中でも、マフィンガ会衆の兄弟たちは王国会館を改裝することができました。兄弟たちはこう述べています。「王国会館が改裝されて、集会に来る人がすごく増えました。惜しみなく与えてくださるエホバと世界中の兄弟姉妹にとても感謝しています。美しい場所でエホバを賛美できてうれしいです」。

スリランカの兄弟たちはコロナの影響で食べ物を手に入れるのが難しくなりました。イマラ・フェルナンドと息子のエノシュもそうでした。でも他の国からの資金によって必要な物資を受け取れました。2人は手作りのカードにこう書きました。「大変な時に兄弟たちが愛を示してくださいって感謝しています。エホバの温かい家族の中にいられて本当に幸せです。エホバが終わりの時代に生活する兄弟たちみんなを助けてくださるように祈っています」。

兄弟姉妹はどこに住んでいても、自分の持っているものを進んで分け与えています。先ほどのエノシュは小さな寄付箱を作りました。自分も困っている兄弟姉妹を助けたいからです。メキシコのグアダルーペ・アルバレスも、自分の持っているものを進んで分け与えています。姉妹が住んでいる州では、ほとんどの人が最低賃金も受け取れず、決まった収入が全くない人もいます。それでも姉妹は自分にできることをしています。こう書いています。「揺るぎない愛を示してくださいエホバに感謝しています。私の寄付もみんなの寄付の一部になって、困っている仲間のために使ってもらえばと思います」。

他の国に資金を送っている支部は兄弟姉妹を支援できてうれしく思っています。「これまでずっと私たちの国では資金面での援助が必要でした」。そう話すのはブラジルで支部委員として奉仕するアンソニー・カルバーリョです。兄弟はこう続けます。「でも資金面で助けていただいたおかげで、素晴らしい増加を見ることができました。最近は経済事情が良くなつたので、他の国を助けることができています。ブラジルの兄弟たちは世界という観点から伝道活動を捉えています。その上で自分たちに何ができるかを意識するようになりました」。

困っている兄弟姉妹を助けるのに一番良い方法は何ですか。外国の支部に直接送金するのではなく、世界的な活動に寄付することです。会衆の寄付箱の「世界的活動」に寄付するか、donate.jw.orgから寄付していただけます。皆さんからの寄付はどれも大切なものです。本当にありがとうございます。

△ (コリ二 8:14) 均等を図ることが目的です。皆さんのが現在多めに持っている分が彼らの足りない分を埋め合わせ、彼らが多めに持っている分が皆さんのが足りない分を埋め合わせると、均等になります。